

4月27日(土)～5月6日(月)までの10日間

春季大型連休における



海の安全推進活動

2024

春季大型連休を迎え、マリンレジャー活動が活発化し、海浜・海域での事故の発生が予想されることから、安全推進活動期間を設定し、マリンレジャーの安全対策を強化します。



POINT 1

エンジンの点検

エンジントラブルを防止するため、発航前の点検を必ず実施しましょう。バッテリー・インペラなどの消耗品も長期間交換していない場合は交換してください。

「点検・整備しなくても大丈夫だろう」という油断が事故の元です。

POINT 2

常時適切な見張り

錨泊、漂流して釣り等を行っている場合でも、常時周囲の見張りをを行い、衝突防止の措置を行いましょう。

「相手が避けてくれるだろう」と考えるのは絶対にやめましょう。



POINT 3

ライフジャケットの着用

釣りを行う場合には、ライフジャケットを着用し、連絡手段を確保のうえ、事件・事故の場合には、118番に通報しましょう。

船上・磯などの危険な場所だけでなく、防波堤（堤防）からの転落も多いです。必ず救命胴衣を着用しましょう。

POINT 4

気象情報の入手

出発前はもちろんのこと、釣り場でも最新の気象情報入手し、荒天が予測される場合には、早めに帰港しましょう。

インターネット、アプリなどを活用しましょう。「この天気だったら“いけるかな”」はやめましょう。



海の安全レポート

第205号 令和6年4月号



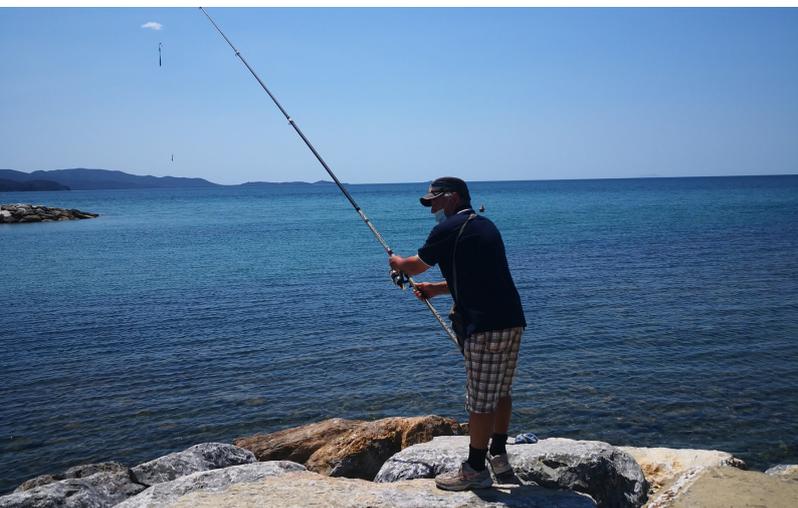
第七管区海上保安本部

7th Regional Coast Guard Headquarters

海の安全推進室(交通部安全対策課)

TEL 093-331-6395





今の時期の水温をご存知ですか？

春の陽気に誘われて、この大型連休に船・堤防・磯などで釣りを楽しまれる方も多いと思います。春になり「気温」は暖かくなっても、「水温」は、まだまだ低く、海中転落した場合、生命の危険があります。

関門海峡
(下関あるかぽーと)

4月10日の水温
15.0°C

釣り中に万が一、海中転落してしまった場合、この低い水温により急速に体温が奪われ、低体温症により意識が低下し昏睡状態となります。水温10°C~15°Cでの意識不明までの時間は「1~2時間」と言われています。

※水温情報提供：下関市立しものせき水族館 海響館

— 実際にあった海中転落事故3選 — 必ず着用「救命胴衣」



排泄中

ほっと一息ついたその時に、もし転落すれば、スポンが貴方の両足を拘束することになるかもしれません。※釣りをする前にはトイレを済ませましょう。



磯場

滑りやすい足場。
一発大波。
言わずもがなの
<危険な環境>
※立入っても大丈夫な場所ですか？



堤防（防波堤）

平坦で見通しもいい、だからこそ「慢心」が生まれやすいです。



過去に事故が発生したことで立入禁止となった場所もあります。ルールを守り、安全に釣りを楽しみましょう。